

広島県警察と連携して、災害便乗商法を注意喚起

～広島県警察・安全安心アプリ「オトモポリス」1周年記念イベントにおいて、啓発活動を実施～

日本損害保険協会中国支部（委員長：谷口 徹・損害保険ジャパン株式会社 広島支店長）は、広島県警察・安全安心アプリ「オトモポリス」(*) 1周年記念イベントで、広島県警察と連携し啓発活動を実施しました。

啓発活動では、災害に乗じて、訪問やインターネット、SNS等で「保険が使える」・「保険金請求をサポートする」などと言って火災保険・地震保険の請求を勧誘する災害便乗商法への注意喚起を記載した当支部作成の啓発マスクや「オレオレ詐欺」「還付金詐欺」など特殊詐欺の被害防止を目的としたチラシやクリアファイルなどを配布しました。当協会中国支部・小泉 俊也 消費者部会長、「減らそう犯罪」広島県民総ぐるみ運動マスコットキャラクター「モシカ」も啓発活動に参加したところ、県民の関心も高く、啓発活動終了予定時間前に、用意していた500セットの啓発物品を配り終えることができました。

中国支部では、今後も行政や関係機関と協力して、地域の安全安心に資する取組みを推進します。

*「オトモポリス」は、2022年2月1日から運用されている広島県警察安全安心アプリです。犯罪や不審者、事故などの情報が地図上で確認できる機能に加え、防犯ブザー・ちかん対策などの防犯機能を搭載しています。運用開始から1年の2023年2月1日現在で、6万2千ダウンロードされています。



啓発活動をする小泉消費者部会長



開会式の様子



マスコットキャラクター「モシカ」



啓発物品（手前：当支部作成の啓発マスク）